

## AccuBridge™ for Visual Studio® PE

# インストールガイド & リリースノート

Version 2011.2

# Copyright

Copyright © AccuRev, Inc. 1995–2011

ALL RIGHTS RESERVED

This product incorporates technology that may be covered by one or more of the following patents: U.S. Patent Numbers: 7,437,722; 7,614,038.

**AccuRev**, **AgileCycle**, and **TimeSafe** are registered trademarks of AccuRev, Inc.

**AccuBridge**, **AccuReplica**, **AccuSync**, **AccuWork**, and **StreamBrowser** are trademarks of AccuRev, Inc.

All other trade names, trademarks, and service marks used in this document are the property of their respective owners.

Copyright © AccuRev, Inc. 1995–2011

ALL RIGHTS RESERVED

本製品は、次の1つ以上の特許によって保護される可能性がある技術を含みます。  
米国特許番号：7,437,722; 7,614,038。

**AccuRev**、**AgileCycle**、および**TimeSafe**はAccuRev, Inc.の登録商標です。

**AccuBridge**、**AccuReplica**、**AccuSync**、**AccuWork**、および**StreamBrowser**はAccuRev, Inc.の商標です。

その他、本書で使用されるすべての商号、商標、およびサービスマークは、それぞれの所有者に帰属します。

# まえがき

このマニュアルは、AccuRev 社の AccuBridge for Visual Studio PE をインストールするためのガイドです。AccuRev および Visual Studio システム管理者を対象としています。

## AccuBridge for Visual Studio とは

AccuBridge for Visual Studio PE は、AccuRev と以下の Visual Studio 製品を統合します。

- Visual Studio 2005
- Visual Studio 2008
- Visual Studio 2010

AccuBridge for Visual Studio PE は、Express バージョンを除く上記のすべての Visual Studio 製品をサポートします。

AccuBridge for Visual Studio PE は、Microsoft Common Source Code Control Interface (MCSCCI) を使用するのではなく、Visual Studio Package Technology (VSPT) に含まれる SCC プロバイダー インターフェイスを実装しています。これにより、AccuRev 固有のソフトウェア構成管理機能とより緊密に統合できます。

## このドキュメントの使用

このドキュメントは、読者が OS および OS コマンド、AccuRev、AccuWork、および Visual Studio PE に関する知識があることを前提としています。

このドキュメントの以降の章では、AccuBridge for Visual Studio PE のインストール方法を説明し、また AccuBridge for Visual Studio PE の現在のバージョンおよび最近のバージョンの情報を提供します。

章	説明
1章 インストールガイド	AccuBridge for Visual Studio PE のインストール方法について説明します。
2章 リリースノート	AccuBridge for Visual Studio PE の現在のバージョンおよび最近のバージョンの機能拡張、バグ修正、および既知の問題点に関する情報を提供します。

## 表記上の規則

このドキュメントは次の表記上の規則を使用します。

書体	説明
青 sanserif	サンプル コードまたは出力に使用。
red monospace	例に使用。

書体	説明
青	Web ページや Web URL などのハイパーリンクを表すために使用。

## テクニカル サポート

日本語リリース版のサポートサイトについてはこちらをご参照ください。

<http://www.techmatrix.co.jp/quality/accurev/support.html>

また、サポートの問い合わせについてはテクマトリックスの AccuRev 製品テクニカル サポート センター ([accurev\\_support@techmatrix.co.jp](mailto:accurev_support@techmatrix.co.jp)) まで電子メールでご連絡ください。

**注意：これ以降の情報はすべて AccuRev 社 (英語) のものです。**

AccuRev 社はテクニカル サポートのニーズに応えるためにさまざまな方法を用意しています。

AccuRev サポート サービスの完全な情報については、AccuRev 社の Web サイトを参照してください。

<http://www.accurev.com/support.html>

### ライセンスの問題

AccuRev 製品のライセンスに関する問題については、問題の解決方法がないかどうか License Self Help ページをまず参照してください。

<http://www.accurev.com/support/license-self-help.html>

### その他のサポートの問題

AccuRev 製品のテクニカル サポートを受けるには：

- <http://support.accurev.com/> にアクセスしてください。
- AccuRev テクニカル サポート ([support@accurev.com](mailto:support@accurev.com)) まで電子メールでご連絡ください。  
**注意：**このメールアドレスは AccuRev 社のものですので、お問い合わせの際はテクマトリックスまでご連絡ください。

AccuRev テクニカル サポートにご連絡の際は、次の情報をお知らせください。

- AccuRev のバージョン
- 使用 OS
- AccuBridge 製品を使用している場合：
  - AccuBridge のバージョン
  - AccuBridge が使用するシステムのバージョン (例えば JIRA や Rally)
- 問題についての簡単な説明。使用した AccuRev インターフェイス (Web UI、Java GUI、CLI)、エラー メッセージ、エラー発生時に行っていた操作、問題が再現可能かどうかなどの情報を必ず含めてください。

- 「[その他のリソース](#)」のリソースの使用を含め、問題解決のために試したことについての説明。
- 問題がどのように開発チームに影響するかについての簡単な評価。

## その他のリソース

AccuRev 製品テクニカル サポートへのお問い合わせに加えて、次のリソースの利用も検討してください。

- AccuRev の既知の問題と解決方法 – <http://www.accurev.com/support/kps.html>  
リリースされた AccuRev 製品の既知の問題について説明しています。
- AccuRev ユーザー フォーラム – <http://www.accurev.com/ubbthreads/>  
AccuRev ユーザー フォーラムは価値あるリソースです。AccuRev の国際的なユーザー コミュニティに加えて、次のようなリソースにもアクセスできます。
  - AccuRev ナレッジ ベース
  - AccuRev FAQユーザー フォーラム メンバーに今すぐご登録ください。
- AccuRev のドキュメント – <http://www.accurev.com/documentation.html>  
ほとんどの AccuRev 製品の現在と過去の全リリースについて、そのドキュメントを参照できます。

# 目次

<b>まえがき</b> .....	<b>iii</b>
AccuBridge for Visual Studio とは .....	iii
このドキュメントの使用 .....	iii
表記上の規則 .....	iii
テクニカル サポート .....	iv
ライセンスの問題 .....	iv
その他のサポートの問題 .....	iv
その他のリソース .....	v
<b>インストール ガイド</b> .....	<b>7</b>
システム要件 .....	7
前提となるソフトウェア .....	7
AccuBridge™ for Visual Studio® PE のインストール .....	7
既存の AccuBridge のアンインストール .....	8
インストーラーの取得と実行 .....	8
既存のソリューションのアンバインディング .....	9
Visual Studio で AccuBridge™ for Visual Studio® PE を使用するための構成 .....	9
AccuBridge™ for Visual Studio® PE の修復 / アンインストール .....	10
<b>リリース ノート</b> .....	<b>11</b>
バージョン 2011.2.....	11
Visual Studio 2010 の既知の問題点 .....	14
Visual Studio 2005 の既知の問題点 .....	14
AccuBridge for Visual Studio PE の既知の問題点 .....	14

# インストールガイド

この章には、AccuBridge for Visual Studio PE のシステム要件、前提となるソフトウェアなど、インストールに関する情報があります。また、既存の AccuBridge for Visual Studio PE のペアリングを解除する方法についても説明します。

## システム要件

AccuBridge for Visual Studio PE は、以下の OS をサポートしています。

- Microsoft Windows XP, Service Pack 2 以上
- Microsoft Windows Vista
- Microsoft Windows 7

**注意** : AccuBridge for Visual Studio PE をインストールする前に、適切な OS のサービス パックをインストールすることを推奨します。

## 前提となるソフトウェア

AccuBridge for Visual Studio PE をインストールする前に、マシンに以下のアプリケーションがインストール済みである必要があります。

- AccuRev Version 4.5.3 以上
- 以下のいずれかの Microsoft Visual Studio 製品 :

- Visual Studio 2005 – Service Pack 1 以上

サービス パックの番号は、OS のバージョンによって異なります。Visual Studio 2005 のリビジョン レベルが 8.0.50727.762 (SP.050727-7600) 以上である必要があります。また、Windows Vista で Visual Studio 2005 を使用する場合は、Microsoft Visual Studio 2005 Service Pack 1 Update for Windows Vista もインストールする必要があります。

- Visual Studio 2008
- Visual Studio 2010

## AccuBridge™ for Visual Studio® PE のインストール

AccuBridge for Visual Studio PE のインストール手順は、次の表のとおり、現在インストールされている AccuBridge for Visual Studio PE のバージョンによって異なります。

AccuBridge のバージョン	手順	参照
2008.1 以上	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 既存のバージョンの AccuBridge for Visual Studio をアンインストールします。</li> <li>2. 現在のバージョンの AccuBridge for Visual Studio PE をインストールします。</li> <li>3. AccuBridge をソース管理プラグインとして使用するよう Visual Studio PE を構成します。</li> </ol>	<p>8 ページの「<a href="#">既存の AccuBridge のアンインストール</a>」。</p> <p>8 ページの「<a href="#">インストーラーの取得と実行</a>」。</p> <p>9 ページの「<a href="#">Visual Studio で AccuBridge™ for Visual Studio® PE を使用するための構成</a>」</p>
2008.1 より前	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 既存のバージョンの AccuBridge for Visual Studio をアンインストールします。</li> <li>2. 既存のソリューションをアンバインディングします。</li> <li>3. 現在のバージョンの AccuBridge for Visual Studio PE をインストールします。</li> <li>4. AccuBridge をソース管理プラグインとして使用するよう Visual Studio PE を構成します。</li> </ol>	<p>8 ページの「<a href="#">既存の AccuBridge のアンインストール</a>」。</p> <p>9 ページの「<a href="#">既存のソリューションのアンバインディング</a>」</p> <p>8 ページの「<a href="#">インストーラーの取得と実行</a>」。</p> <p>9 ページの「<a href="#">Visual Studio で AccuBridge™ for Visual Studio® PE を使用するための構成</a>」。</p>

**注意 :** AccuBridge for Visual Studio PE をインストールする前に、既存のすべてのバージョンの AccuBridge for Visual Studio をアンインストールする必要があります。

## 既存の AccuBridge のアンインストール

AccuBridge for Visual Studio の既存のバージョンをアンインストールするには、次の操作を行います。

1. Visual Studio のすべてのインスタンスを終了します。
2. AccuRev Add-in for Visual Studio 2003/2005 の既存のバージョンをアンインストールします。
  - (Windows XP の場合) **[スタート]** メニューの **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プログラムの追加と削除]** を選択します。
  - (Windows Vista および Windows 7 の場合) **[スタート]** メニューの **[コントロール パネル]** をクリックします。 **[Programs and Features]** を選択します。

## インストーラーの取得と実行

**注意 :** AccuBridge for Visual Studio PE をインストールするには、管理者権限が必要です。



AccuBridge for Visual Studio PE をインストールするには、次の操作を行います。

1. 提供されたアーカイブ ファイル (zip) を任意の場所に解凍します。
2. **AccPkgVSInstaller.msi** ファイルを実行します。

デフォルトでは、AccuBridge for Visual Studio PE は <AccuRev-installation-dir>\bin\VSPackage にインストールされますが、インストーラーで他のパスを選択することもできます。

## 既存のソリューションのアンバインディング

**注意：**この手順は、バージョン 2008.1 より前の AccuBridge for Visual Studio PE を使用している場合にだけ実行します。

AccuBridge for Visual Studio PE は、パッケージ技術を使用して実装されています。バージョン 2008.1 より前の AccuBridge は、アドイン技術を使用しています。アドイン技術を使用するバージョンの AccuBridge for Visual Studio PE で管理される Visual Studio ソリューションを現在のバージョンの AccuBridge for Visual Studio PE で利用できるようにするには、ソリューションを変更する必要があります。この手順をアンバインディングと呼びます。

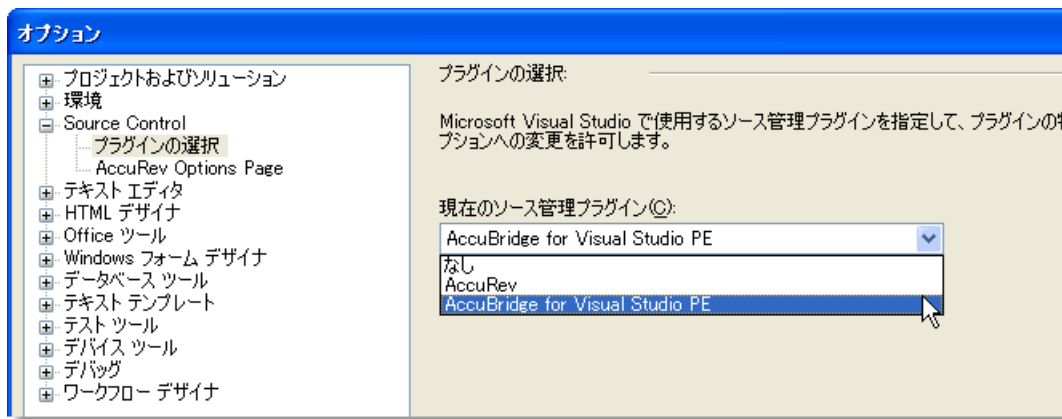
2008.1 より前の AccuBridge for Visual Studio PE を利用する Visual Studio ソリューションをアンバインディングするには、次の操作を行います。

1. Visual Studio にソリューションをロードします。
2. [ファイル] メニューの [Source Control] > [Change Source Control] をクリックします。
3. ソリューションおよびダイアログに表示されたすべてのプロジェクトをアンバインディングし、ダイアログを閉じます。
4. [ツール] メニューの [オプション] > [Source Control] をクリックし、プロバイダーを **AccuBridge for Visual Studio PE** に変更します。
5. [ファイル] メニューの [AccuRev] > [リフレッシュ] をクリックします。

## Visual Studio で AccuBridge™ for Visual Studio® PE を使用するための構成

AccuBridge for Visual Studio PE のインストールが完了したら、Visual Studio が AccuBridge for Visual Studio PE をソース管理プラグインとして利用できるよう、次の手順に従って Visual Studio を構成します。

1. [ツール] メニューの [オプション] をクリックし、[オプション] ダイアログを開きます。



2. 上の図のように、ナビゲーション ペインで **[Source Control]** エントリを展開して **[プラグインの選択]** を選択します。
3. コンテンツ ペインで **[現在のソース管理プラグイン]** ドロップダウン リストを開きます。
4. **[AccuBridge for Visual Studio PE]** を選択したら、**[OK]** をクリックして選択を保存し、ダイアログを閉じます。

## AccuBridge™ for Visual Studio® PE の修復 / アンインストール

インストーラーを再実行すると、**[Repair]** または **[Remove]** モードで実行されます。ディスクのインストーラーの場所からインストーラーを再実行するか、コントロール パネルの **[プログラムの追加と削除]** でインストーラーを再実行できます。

# リリース ノート

この章では、現在のバージョンの AccuBridge for Visual Studio の新機能および修正された問題について説明します。また、既知の問題点についても説明します。

## バージョン 2011.2

### 19572 – AccuBridge Visual Studio 2008 および 2010 でプラグインの選択がリセットされる

以前のバージョンでは、ソース管理プラグインの選択を [なし] に設定した後、AccuBridge for Visual Studio にリセットされていました。この問題は現在のバージョンでは修正されています。

### 20227 – Visual Studio 2010 で AccuBridge プラグインの選択が保存されない

以前のバージョンでは、Visual Studio 2010 で AccuBridge プラグインを選択しても、Visual Studio を終了して再起動すると設定が保存されていませんでした。この問題は現在のバージョンでは修正されています。

### 20262 – 変更したファイルを手動でリフレッシュする必要がある

以前のバージョンでは、変更したファイルのステータスを更新するには、手動でリフレッシュする必要があり、リフレッシュするまでは Backed のままでした。この問題は現在のバージョンでは修正されています。AccuRev は [Require Manual Refresh] オプションがオンでないかぎり、自動的にステータスをリフレッシュします。

### 20484 – 出力ウィンドウが AccuRev の出力を表示するよう切り替わる

以前のバージョンでは、Stat 操作が正常に実行されるたびに、Visual Studio の出力ウィンドウが AccuRev の出力を表示するよう切り替わっていました。これにより、ビルド中に発生したエラー メッセージの表示などが妨げられる場合があります。この問題は現在のバージョンでは修正されています。

### 20652 – Windows 7 64-bit 版でのインストール エラー

以前のバージョンでは、Windows 7 64-bit 版への AccuBridge for Visual Studio PE のインストールが失敗し、エラー 2869 を生成するか、またはパッケージが正しくロードされていないというメッセージを表示することがありました。この問題は現在のバージョンでは修正されています。

### 20933 – .sln ファイルを開いたときに要素のステータスが表示されない

以前のバージョンでは、ファイル ブラウザーから Visual Studio のソリューション ファイル (.sln) を開いた場合、要素のステータスが Visual Studio に表示されず、

AccuRev のすべてのプロジェクト オプションが表示されておりました (Visual Studio からプロジェクトを開いた場合は、要素のステータスおよびプロジェクト オプションが正しく表示されます)。この問題は現在のバージョンでは修正されています。

#### **21099 – マージ操作中に AccuRev サービスがハングする**

以前のバージョンでは、オーバーラップしているファイルをマージする際、クライアント マシンの AccuRev サービスがハングし、AccuRev サービスを再起動しなければならない場合があります。この問題は現在のバージョンでは修正されています。

#### **21550 – Visual Studio 2010 で AccuRev の検索タブが無効**

以前のバージョンでは、Visual Studio 2010 で AccuRev ウィンドウの検索タブのフィルター ボタンが無効になっており、ユーザーが AccuRev をリフレッシュ ([AccuRev] メニューの [リフレッシュ]) する必要がありました。この問題は現在のバージョンでは修正されています。

#### **21555 – 名前が変更されたファイルが AccuRev クライアントで Missing ステータスとして表示される**

以前のバージョンでは、Visual Studio 2010 で名前を変更したファイルは、AccuRev クライアントでは Missing として表示されておりました。この問題は現在のバージョンでは修正されています。

#### **21571 – AccuRev update -m 機能がサポートされていない**

以前のバージョンでは、マージ コマンドでは -m オプション (更新時にマージ) がサポートされていませんでした。この問題は現在のバージョンでは修正されています。

#### **21979 – AccuRev ウィンドウをドッキングした後に AccuRev メニューが表示されない**

以前のバージョンでは、Visual Studio 2010 で AccuRev ウィンドウをドッキングし、[自動的に隠す] に設定すると、AccuRev メニューが表示されませんでした。この問題は現在のバージョンでは修正されています。

#### **22276, 22277, 22278 – AccuRev Web UI ツールバーへの新規機能の追加**

AccuRev ツールバーに以下のアクションを実行するボタンが追加されました。

- 新規課題の作成
- StreamBrowser を開く
- AccuWork クエリー エディターを開く

## 22338 – キープおよびプロモート コマンドにコメントを追加すると Visual Studio がクラッシュする

以前のバージョンでは、キープまたはプロモート コマンドにコメントを追加すると、Visual Studio がクラッシュしました。この問題は現在のバージョンでは修正されています。

## Visual Studio 2010 の既知の問題点

Visual Studio 2010 で AccuBridge for Visual Studio を使用する場合、以下の問題が確認されています。

- Web サイト プロジェクトに SCC シンボルが表示されません。
- AccuRev 操作の実行中にステータスバーの左下隅にアニメーションが表示されません。

## Visual Studio 2005 の既知の問題点

Visual Studio 2005 の以下の問題が AccuBridge for Visual Studio PE との統合に影響を与えることが確認されています。

- ソリューション エクスプローラーでソリューション (.sln) のツールチップが表示されません。
- プロパティ フォルダー以外のフォルダーにツールチップや装飾が表示されません。
- Visual Studio を使用して C++ プロジェクトのファイルを削除すると、ファイルはディスクから削除されますが、AccuRev によってデファクトされません。AccuRev ウィンドウの検索ビューで **Missing** ファイルを検索し、**デファクト** コマンドを実行する必要があります。
- リンクのターゲット ファイルを編集し保存すると、Visual Studio がリンクを破壊するため、**ACC-1065** の問題が発生します。

## AccuBridge for Visual Studio PE の既知の問題点

AccuBridge for Visual Studio PE の以下の問題が確認されています。

### ACC-1065

リンクのターゲット ファイルを編集し保存すると、Visual Studio がリンクを破壊するため、リンク要素のステータスが **(backed)(link)(corrupted)(modified-target)** になります (この状況を確認するには、[AccuRev] メニューの [リフレッシュ] を実行する必要がある場合があります)。リンク要素を修復するには、**ポピュレート** コマンドを実行します。すると、ステータスが正しく **(backed)(link)(modified-target)** になります。

### ACC-1066

AccuBridge for Visual Studio PE をアンインストールした後も、Visual Studio のスプラッシュ画面に AccuBridge for Visual Studio PE の名前とアイコンが表示され続けます。

## ACC-1423

新規 Visual C++ ATL プロジェクトでは、AccuRev アイコン装飾およびステータス ツールチップが正しく表示されないアイテムがあります。表示を修正するには、**[AccuRev]** メニューの **[リフレッシュ]** を実行します。